

誤薬関連論文の検索方法に関する研究 - 医中誌 web による網羅的な文献検索を行うために -

小林友恵¹ 小澤三枝子²

1 国立看護大学校看護学部卒業生；〒 204-8575 東京都清瀬市梅園 1-2-1 国立看護大学校小澤研究室 2 国立看護大学校
ana720bin@ybb.ne.jp

The recommended criteria when Ichushi Web users search Japanese articles about medication errors

Tomoe Kobayashi¹ Mieko Ozawa²

1 National College of Nursing, Japan ; 1-2-1 Umezono, Kiyose-shi, Tokyo, 〒 204-8575, Japan

2 National College of Nursing, Japan

[Keywords] 医学中央雑誌, 文献検索, 検索語, 誤薬, 投薬ミス

I. 緒言

医療・看護を安全に提供することは、医療従事者の切なる願いである。看護業務では、特に与薬事故（誤薬）が多く報告されており（日本看護協会，2009），与薬業務の安全性を高めようとする研究は数多くなされている。自施設における与薬業務の安全性を高めるために、これらの先行研究を参考にしたいと考える看護職も多い。

二次資料を用いて網羅的に文献検索を行うためには、事前に誤薬の類義語について調査し、その調査結果を踏まえて、適切な検索語を選択して文献検索を行うことが必要である。しかし、誤薬という事象やそれを包含する医療事故の関連語には類義語が多数存在する。そのため、的確に文献検索を行うためには、かなりの熟練を要する。

本研究では、誤薬の類義語や与薬の類義語、医療事故の関連語に関する調査を行い、用語を収集し整理する。さらに、それらの用語を使用して、医中誌 Web (Ver.4) (以下医中誌 Web という) を用いて、誤薬に関する原著論文の試行検索を行い、文献検索に最適な検索式を提案する。

本研究で提案する方法は、ブラウジングや文献レビューを行う場合を想定して、適合率の高い検索方法（精度の高い効率的な検索）よりも、再現率の高い検索方法（網羅的な検索）になるよう工夫した。本研究の結果を多くの看護職に活用していただくことによって、与薬業務の安全性に寄与したい。

II. 研究方法

1. 誤薬の類義語

まず、「誤薬」の定義を行い、次に、先行研究から誤薬の類義語を収集する。

2. 医学用語シソーラスにおける誤薬に関するシソーラス用語の調査

医中誌 Web の検索支援用辞書である「医学用語シソーラス第6版カテゴリー別キーワードリスト（医学中央雑誌刊行会，2007）（以下シソーラス<カテゴリー>）」「医学用語シソーラス第6版50音順キーワードリスト（医学中央雑誌刊行会，2007）（以下シソーラス<50音順>）」を用いて、誤薬に関するディスクリプタ・非ディスクリプタ・ヒストリーを調査する。

3. 国内文献における与薬の類義語と医療事故の関連語の調査結果

複合語である誤薬を2個の構成要素に分割し、「与薬すること」の部分すなわち与薬の類義語と、「間違えて」の部分すなわち医療事故の関連語を、国内文献を対象として多角的に調査する。

4. 誤薬の類義語、与薬の類義語、医療事故の関連語に関するシソーラス用語の調査結果

収集した与薬の類義語と医療事故の関連語を、医中誌 Web の Mapping 機能を使用してシソーラス用語と自然語

に区別し、さらに、医中誌 Web の候補語辞書の参照機能と医学用語シソーラスを使用してより適切な検索語を収集した。

5. 医中誌 Web による試行検索

1～4 の調査結果を踏まえて、医中誌 Web を用いて誤薬に関する原著論文の試行検索を行い、網羅的に文献を検索できる検索式を立案する。

Ⅲ. 結果

1. 誤薬の類義語

与薬エラー発生に関する研究動向を調べた研究（八代ら、2004）では、次の方法で文献検索を行なっている。まず、医中誌 Web を用いて、検索語に誤薬の類義語である「与薬エラー」「与薬ミス」「与薬事故」を使用し、検索期間を 1990 年から 2002 年として文献検索を行ない、検索された原著論文から与薬エラーに関する論文を抽出し、その論文に使用されている引用・参考文献から与薬エラーに関する国内論文を抽出する。さらに、職業団体や行政からの報告書・解説論文・書籍・その他を加えて、総計 43 件を国内の調査対象文献として選定する。この研究の引用文献リストには、論文タイトル内に、「与薬ニアミス」「与薬に関するヒヤリ・ハット」など、誤薬の類義語が多数存在していた。

看護学大辞典は、「誤薬」を「間違えて与薬すること。与薬の全過程での間違いを含む。」と定義しているが、文献上の表記において、この事象を指し示す類義語は多数存在する。

2. 医学用語シソーラスにおける誤薬に関するシソーラス用語の調査

医中誌 Web では、一件一件の文献に、専門の索引者が主題に沿ったシソーラス用語（ディスクリプタ・非ディスクリプタ）を付与している。

シソーラス<カテゴリー>には、ディスクリプタとして「誤薬」は収録されておらず、類義語である「投薬ミス」が収録されている。ディスクリプタとは、各種用語関連資料や頻度を参考にして選定されたもので、索引・検索に使用される用語である。ある概念を表す用語が複数存在する場合には、それぞれの用語で表現された情報を一カ所に集めるために、その概念を代表する表記として、ディスクリプタの選定が必要となる。医中誌 Web では、ディスクリプタは統制語・見出し語ともいい、「/TH」で表す。一方、ディスクリプタ以外の検索語（非ディスクリプタを含む）は「/AL」で表す。

ディスクリプタで検索をした場合、検索式は「ディスク

リプタ /TH or ディスクリプタ /AL」である。たとえば、投薬ミスの場合「投薬ミス /TH or 投薬ミス /AL」で検索される。

シソーラス<50 音順>の「投薬ミス」の項目には、非ディスクリプタとして「投薬過誤」が収録されている。非ディスクリプタとは、ディスクリプタの異表記や、索引・検索上で同義語とみなしている用語である。医中誌 Web では、同義語という。ちなみに「投薬過誤」は、第 5 版シソーラスまではディスクリプタとして収録されていた。

非ディスクリプタで検索をした場合、Mapping 機能（ディスクリプタに自動案内する機能）が働き、検索式は「ディスクリプタ /TH or 非ディスクリプタ /AL」である。例えば、投薬過誤の場合「投薬ミス /TH or 投薬過誤 /AL」で検索される。

シソーラス用語以外の検索語すなわち自然語で検索をした場合、検索式は「自然語 /AL」である。自然語とは、論文や記事などに著者が用いたそのままの学術用語で、ディスクリプタ・非ディスクリプタ以外の検索語である（鈴木ら、2006；田中、2004）。

Mapping はシソーラス<50 音順>に収録された非ディスクリプタにのみ機能し、他の自然語には機能しないのかを確認するため、八代らの研究（2004）を踏まえて「与薬エラー」「与薬ミス」「与薬事故」で文献検索を行い、その検索式の表示を調査した。その結果、「与薬エラー」と「与薬事故」はディスクリプタ「投薬ミス /TH」に自動案内されたが、「与薬ミス」は自動案内されなかった。

ADVANCED MODE の候補語辞書の参照機能を使用して、統制語リストの表示を調査したところ、「与薬エラー」「与薬事故」は、ディスクリプタ「投薬ミス」の同義語に位置づけられていた。

つまり、Mapping は自然語すべてに機能するわけではない。また、比較的新しい文献が「自然語 /AL」では検索できるのに「ディスクリプタ /TH」では検索できない場合もあり、Mapping 機能だけに頼るのは好ましくない。医中誌 Web は、シソーラス用語を活用することで、精度の高い効率的な検索をすることを可能にしているが、より網羅的な検索をするためには、自然語による検索を併用することが望ましい（表 1）。

3. 国内文献における与薬の類義語と医療事故の関連語の調査結果

1) 誤薬の類義語の構造

誤薬の類義語である「与薬エラー」「与薬ミス」「与薬事故」は、誤薬の定義である「間違えて」の部分と「与薬すること」の部分の 2 個の構成要素の組合せとして構成される複合語である。そこで、複合語をこの 2 個の構成要素に分割し、国内文献 24 件（表 2）を対象として、構成要素

表1 シソーラス語・自然語と類義語・同義語・関連語

シソーラス語・自然語		
シソーラス 用語	ディスクリプタ	各種用語関連資料や頻度を参考にして選定されたもので、索引・検索に使用される用語 医中誌 Web では、統制語・見出し語という
	ヒストリー	ディスクリプタの変遷
	非ディスクリプタ	ディスクリプタの異表記や、索引・検索上で同義語とみなしている用語 医中誌 Web では、同義語という
自然語		論文や記事などに著者が用いたそのままの用語
類義語・同義語・関連語		
類義語		意義の類似する用語
同義語		一般的には、語形は異なるが意義はほぼ同じ用語 本研究では、医中誌 Web 上の非ディスクリプタを同義語とする
関連語		与えられた用語とある特定の関係にある用語 たとえば、上位語・下位語（階層関係）や、同義語・類義語（同義・類義関係）や、反意語（反意関係）などであり、略語も含む

表2 文献一覧

	No.	書名・表題・文書タイトル
看護学辞典・ 事典	1	看護学事典
	2	看護大事典第1版
	3	看護学大辞典第5版
医学辞典	4	医学書院医学大辞典
	5	最新医学大辞典第3版
	6	南山堂医学大辞典第19版
医療安全に 関する事典	7	医療の質用語事典
	8	医療安全用語事典
	9	医療・病院管理用語事典改訂第3版
単行本	10	医療安全—看護の法と倫理の視点から第2版（石井，1999）
	11	系統看護学講座別巻16 医療安全（川村，2005）
	12	医療事故防止のための安全管理体制の確立に向けて「提言」：事故を未然に防ぐ方策から事故後の対応策のガイドライン （国立大学医学部附属病院長会議，2001）
	13	ナーシング・マネジメント・ブックス6「看護事故」防止の手引き（杉谷，1997）
原著論文	14	看護職における「与薬エラー発生」に関わる要因—国内外の研究動向と今後の課題—（八代ら，2004）
解説	15	医療安全管理の実践3 医療事故用語の定義（長谷川，2003）
特集	16	医療安全の新たな展望—総論—危機管理原論（長谷川，2002）
	17	医療安全の新たな展望—各論—ヒューマンファクターとエラー対策（石橋，2002）
電子文書	厚生労働省	
	18	医療安全推進総合対策～医療事故を未然に防止するために～
	19	患者誤認事故防止方策に関する検討会報告書
	国立大学医学部附属病院長会議常置委員会	
	20	医療事故防止のための安全管理体制の確立について—「医療事故防止方策の策定に関する作業部会」中間報告—
	日本医師会	
	21	患者の安全を確保するための諸対策について
	日本看護協会	
	22	医療事故発生時の対応—看護管理者のためのリスクマネジメントガイドライン—
	23	組織でとりくむ医療事故防止—看護管理者のためのリスクマネジメントガイドライン—
日本医療機能評価機構		
24	医療事故情報収集等事業第17回報告書	

毎の類義語・関連語を調査した。

2) 与薬の類義語

国内の医学・看護学に関する辞典・事典6件を対象として、「与薬すること」の部分すなわち与薬の類義語を調査し、「与薬」「与薬法」「投薬」「薬物投与」「薬物適用」を収集した。看護学領域では、主に「与薬」が使用される(医学書院医学大辞典)。一方、医学領域では、「与薬」の他、「投薬」「薬物投与」「薬物適用」が使用される。

3) 医療事故の関連語

国内文献24件を対象として、「間違えて」の部分すなわち医療事故の関連語を調査した。

まず、長谷川(2002)は、①健康障害の有無、②過誤(Error)の有無の視点で、医療事故の関連語の分類を行っている。①では、健康障害がある場合を「医療事故」、ない場合を「ひやり・はっと事例」に分類する。「ひやり・はっと」は、他の調査対象文献において「ヒヤリハット」「ヒヤリ・ハット」「ヒヤリ、ハット」「ヒヤリ・ハット」など、ひらがなとカタカナ・読点の書き方による表記の揺れがある。さらに、②では「医療事故」を過誤の有無で分類を行い、過誤がある場合を「医療過誤」、ない場合を「その他の医療事故」に分類する。「ひやり・はっと事例」についても「(過誤の)あり・なしの双方があり得る」と説明しているものの、特別に用語の分類を行っていない。

「過誤」(Error)に関して、各々の文献で「エラー」の多様な定義・分類が行われている。また、複数の文献で「ヒューマンエラー」の省略形として「エラー」が使用されている(医療の質用語事典;石橋,2002;国立大学医学部附属病院長会議,2001;医療安全用語事典)。

医療安全用語事典は、「エラー」と「ミス」の関係について「日常的には、誤り、失敗、過失を意味する語句としてミスが用いられている。ミスとエラーは日常用語としては明確に区別する必要はないが、認知心理学的には、エラーという語句が適切である。」と説明している。

次に、国内の看護学に関する辞典・事典・単行本6件を対象として、看護事故の関連語を調査し、「看護事故」「看護過誤」を収集した。

杉谷(1997)は、「医療事故」の定義には、診療事故および看護事故を含めるものと、両者を区別するものがあるとし、後者の見解に立つ。さらに、「看護事故」を過誤の有無で分類を行い、過誤がある場合を「看護過誤」、ない場合を「不可抗力事故(偶発事故)」に分類する。

本研究では、誤薬すなわち「間違えて与薬すること」の類義語の調査を目的としている。そこで、「過誤」が存在する場合に限定して、医療事故の関連語を次の3群に大別した。

①健康障害が発生した状態を指し示す用語群

医療事故 事故 アクシデント 看護事故

医療過誤 看護過誤

②健康障害が発生するに至らなかった状態を指し示す用語群

潜在的医療事故 インシデント ニアミス

ヒヤリハット ヒヤリ・ハット ヒヤリ、ハット ひやりはっと ひやり・はっと ひやり、はっと ヒヤリ・ハット

③人間の行為に着目する用語群

過誤 エラー ヒューマンエラー ミス

4. 誤薬の類義語、与薬の類義語、医療事故の関連語に関するシソーラス用語の調査結果

1) 誤薬に関するシソーラス用語

「Ⅲ. 2. 医学用語シソーラスにおける誤薬に関するシソーラス用語の調査」で述べたように、ディスクリプタ「投薬ミス」には、シソーラス<50音順>に収録されている非ディスクリプタ「投薬過誤」以外に、複数の同義語が存在する。同義語の異表記間で検索結果に差が生じない場合は、代表する表記を選択する(表3 誤薬の類義語)。

ここで、ディスクリプタと医中誌Webの同義語と医学用語シソーラスの非ディスクリプタを検索語に使用した場合、各々の検索結果に差が生じるのかを確認するため、次の方法で文献検索を行なった。二次資料に医中誌Webを用いて、検索期間は2007年~2010年、論文種類は「原著論文」に限定する。ここに示す検索結果は、2010年9月22日現在のものをご了解いただきたい。

まず、ディスクリプタ「投薬ミス」で検索を行なった。その結果、Mapping機能を使用する(投薬ミス/TH or 投薬ミス/AL)と255件、Mapping機能を使用しない(投薬ミス/TH)と254件が検索された。

次に、同義語「与薬事故」で検索を行い、Mapping機能を使用すると254件が検索され、全件がディスクリプタ「投薬ミス」の検索結果と重複していた。非ディスクリプタ「投薬過誤」で検索を行い、Mapping機能を使用すると255件が検索された。しかし、Mapping機能を使用しないと2件が検索され、その内1件のみディスクリプタ「投薬ミス」の検索結果と重複していた。

2) 与薬の類義語と医療事故の関連語に関するシソーラス用語の整理

(1) 与薬の類義語に関するシソーラス用語の整理

(i) シソーラス用語と自然語に区別する

医中誌WebのMapping機能を使用して、「Ⅲ. 3.2) 与薬の類義語」で収集した与薬の類義語と医中誌Webにおけるシソーラス用語との一致・不一致を調査し、シソーラス用語と自然語に区別する。

(ii) ディスクリプタ・同義語・非ディスクリプタ・ヒストリーから適切なシソーラス用語を収集する

より適切な検索語を求めて、次の方法で調査した。前項のシソーラス用語と自然語について、医中誌 Web の候補語辞書の参照機能を使用して統制語リストの表示を調査し、候補語として挙げられた見出し語・同義語から適切な検索語を選択する。そして、上述の方法で収集した見出し語について、医学用語シソーラスを用いて昇格語・降格語・変更語リストと非ディスクリプタ・ヒストリーを調査し、収集した用語から適切な検索語を選択する。また、見出し語の階層構造の表示も調査する。同義語の異表記間で検索結果に差が生じない場合は、代表する表記を選択する(表3 与薬の類義語)。

(2) 医療事故の関連語に関するシソーラス用語の整理

前項と同じ方法で、収集した医療事故の関連語をシソーラス用語と自然語に区別し、ディスクリプタ・同義語・非ディスクリプタ・ヒストリーから適切なシソーラス用語を収集した(表3 医療事故の関連語)。

5. 医中誌 Web による試行検索

本項は、前項までにとりまとめた各々の調査結果を踏まえて、二次資料に医中誌 Web を用いて誤薬に関する文献検索を行う。検索期間は2007年～2010年、検索日は2010年9月22日、論文種類は「原著論文」に限定し、Mapping 機能を使用する。

1) ディスクリプタ「投薬ミス」による検索

「Ⅲ. 4.1) 誤薬に関するシソーラス用語」で述べたように、検索語に「投薬ミス」を使用して検索を行なった結果、ディスクリプタ「投薬ミス /TH」に自動案内され、255件が検索された。・・・①

2) 与薬の類義語と医療事故の関連語の論理積による検索

検索語に、表3に示す与薬の類義語と医療事故の関連語に関するシソーラス用語と自然語を選択し、次の方法で文献検索を行なった。なお、下線の検索語は現在の医中誌

表3 誤薬の類義語と与薬の類義語と医療事故の関連語に関するシソーラス用語の調査結果

誤薬の類義語

ディスクリプタ (統制語・見出し語)	医中誌 Web に おける同義語	医学用語シソーラスに おける非ディスクリプタ	ヒストリー	自然語
投薬ミス (変更語) ^{注1)}	投薬過誤 与薬エラー 与薬事故 誤薬	投薬過誤 (変更語)	投薬過誤 (変更語)	

与薬の類義語

ディスクリプタ (統制語・見出し語)	医中誌 Web に おける同義語	医学用語シソーラスに おける非ディスクリプタ	ヒストリー	自然語
薬物療法	投薬 与薬	投薬		与薬法 薬物投与 薬物適用

医療事故の関連語

ディスクリプタ (統制語・見出し語)	医中誌 Web に おける同義語	医学用語シソーラスに おける非ディスクリプタ	ヒストリー	自然語
医療過誤 事故	医療事故			アクシデント 潜在的医療事故 インシデント
医療ミス	ヒューマンエラー メディカルエラー メディカル・エラー			ニアミス ヒヤリハット
看護ミス (変更語)	看護過誤 看護事故	看護過誤 (変更語)	看護過誤 (変更語)	ヒヤリ・ハット ヒヤリ, ハット
医療事故防止 (変更語) 事故防止	医療過誤防止 事故予防	医療過誤防止 (変更語)	医療過誤防止 (変更語)	ひやりはっと ひやり・はっと
インシデント・レポート (昇格語) ^{注2)}	ヒヤリ・ハット報告 インシデントレポート ヒヤリ・ハット事故報告 病院事故報告	ヒヤリ・ハット報告	リスク管理 リスクマネジメント (昇格語)	ひやり, はっと ヒヤリ・ハット 過誤 エラー ミス

注1) 変更語とは、第5版におけるディスクリプタの表記を変更した用語である。

注2) 昇格語とは、第5版においてあるディスクリプタのもとで非ディスクリプタとして統制されていた用語が、第6版よりディスクリプタとして独立して扱われるようになった用語である。

Web の Mapping 機能では、ディスクリプタに自動案内されないため注意が必要である。

1 「与薬の類義語」を or で括る。

与薬の類義語は、以下の 6 語である。

薬物療法 投薬 与薬 /

与薬法 薬物投与 薬物適用

2 「医療事故の関連語」を or で括る。

医療事故の関連語は以下の 35 語である。

医療過誤 医療事故 事故

医療ミス ヒューマンエラー

メディカルエラー メディカル・エラー

看護ミス 看護過誤 看護事故

医療事故防止 医療過誤防止 事故防止 事故予防

インシデント・レポート インシデントレポート

ヒヤリ・ハット事故報告 病院事故報告

ヒヤリ・ハット報告

リスク管理 リスクマネジメント /

アクシデント 潜在的医療事故 インシデント ニアミス

ヒヤリハット ヒヤリ・ハット ヒヤリ, ハット

ひやりはっと ひやり・はっと ひやり, はっと

ヒヤリ・ハット

過誤 エラー ミス

3 「誤薬の類義語」を or で括る。

誤薬の類義語は、以下の 5 語である。これらはいずれも、ディスクリプタ「投薬ミス /TH」に自動案内される。

投薬ミス 投薬過誤 与薬エラー 与薬事故 誤薬

4 医中誌による試行検索

誤薬の定義である「間違えて」の部分と「与薬すること」の部分の 2 個の構成要素を組合せるため、「与薬の類義語」と「医療事故の関連語」を and で結ぶ。そして、この論理積と「誤薬の類義語」を or で括る。

(「与薬の類義語」 and 「医療事故の関連語」) or 「誤薬の類義語」

その結果、1,154 件が検索された。・・・②

「投薬ミス /TH」のみを使用する場合 (①) には、網羅的検索を行なった場合 (②) の 22.1% が検索されたことになる。

IV. 考 察

1. 誤薬に関するシソーラス用語による検索

「Ⅲ. 4.1) 誤薬に関するシソーラス用語」で述べたように、ディスクリプタ・同義語・非ディスクリプタを検索語に使用した場合、各々の検索結果に差が生じた。以上の結果から、より網羅的な検索をするためには、ディスクリプタのみならず同義語・非ディスクリプタによる検索を追加することが望ましい。その準備として、適切な検索語を選

択するための様々な調査が必要とされる。

まず、非ディスクリプタ「投薬過誤」は、シソーラス <50 音順> の調査から収集した検索語であるが、「投薬過誤」は、ヒストリー (ディスクリプタの変遷) によると、第 5 版シソーラスまではディスクリプタとして収録されていた。医学用語シソーラスは、1983 年の第 1 版刊行以来ほぼ 4 年ごとに改訂されている。適切な検索語を選択するためには、非ディスクリプタ・ヒストリーを改定毎に調査することが必要であると考えられる。

次に、同義語「誤薬」は、看護学大辞典から収集した検索語である。また、同義語「与薬エラー」「与薬事故」は、八代ら (2004) の研究で使用された検索語である。辞典・単行本・原著論文等の文献を対象とする調査も、適切な検索語を選択するためには、必要であると考えられる。

しかし、医中誌 Web における同義語を文献調査からすべて見つけ出すことは不可能であり、網羅的な検索を行うには限界がある。

2. 与薬の類義語と医療事故の関連語の論理積による検索

自然語による検索の利点として、シソーラス用語にない新しい用語や特殊な専門用語で検索が可能であることが挙げられる。しかし、欠点として、一つの概念を表現する多数の類義語の存在や、「ヒヤリ・ハット」「ひやり・はっと」「ヒヤリ・ハット」などの表記の揺れを考慮しないと、検索漏れの恐れがあることが挙げられる。

重要なのは、自然語について、医中誌 Web の候補語辞書の参照機能を使用して統制語リストの表示を調査し、候補語として挙げられた見出し語・同義語から適切な検索語を選択し、さらに収集した見出し語について、医学用語シソーラスを用いて昇格語・降格語・変更語リストと非ディスクリプタ・ヒストリーを調査し、収集した用語から適切な検索語を選択することである。このように自然語をシソーラス用語に変換することと、見出し語の階層構造の表示を調査することの利点として、次の 2 点が挙げられる。第一に、シソーラス用語による検索は、自然語による検索では多数の類義語を必要とするのに比べて、少数のシソーラス用語で網羅的な検索が可能である。第二に、「医療事故防止」「事故防止」「インシデント・レポート」など文献を対象とする調査時には見落としていた用語を収集し検索語に追加できたことは、検索範囲を拡張することに役立ったと考える。

与薬の類義語と医療事故の関連語のシソーラス用語と自然語の併用による検索結果である②は、ディスクリプタ「投薬ミス」による検索結果である①を漏れなく包含している。以上の結果から、網羅的な文献検索のための検索式は「与薬の類義語 and 医療事故の関連語」or 「誤薬の類義

語」であり、シソーラス用語と自然語を併用することが必要であると考え。

検索式立案の考え方は、上に示したとおりであるが、シソーラス用語は定期的に改訂されること、自然語もまた新しい用語や特殊な専門用語の出現により変遷することから、今後起こりうる用語の変化に対応できるわけではない。また、シソーラス用語は二次資料ごとに特徴があることから、JDream IIや最新看護索引 Web など他の二次資料については別の検索式を立案する必要があると考える。本研究で示した検索方法を参考に、必要な自然語をシソーラス用語に加えて文献検索を行えば網羅的検索が可能となり、看護学への貢献度が高められると考える。

本研究は、2006年度国立看護大学校看護学部へ提出した卒業論文の一部を2010年9月現在の状況に合わせて加筆・修正したものである。

■文 献

- 長谷川友紀 (2002). 医療安全の新たな展望—総論危機管理原論. 保健医療科学, 51(3), 127-130.
- 長谷川敏彦 (2003). 医療安全管理の実践3 医療事故用語の定義, 病院 62(7), 590-596.
- 医学中央雑誌刊行会 (2007). 医学用語シソーラス第6版 カテゴリー別キーワードリスト. 医学中央雑誌刊行会, 東京.
- 医学中央雑誌刊行会 (2007). 医学用語シソーラス第6版 50音順キーワードリスト. 医学中央雑誌刊行会, 東京.
- 飯田修平, 飯塚悦功, 棟近雅彦 (2005). 医療の質用語事典. 日本規格協会, 東京.
- 石橋明 (2002). 医療安全の新たな展望—各論—ヒューマンファクターとエラー対策. 保健医療科学, 51(4), 232-244.
- 石井トク (1999). 医療安全—看護の法と倫理の視点から第2版. 医学書院, 東京.
- 伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨 (2003). 医学書院医学大辞典. 医学書院, 東京.
- 川村治子 (2005). 系統看護学講座別巻 16 医療安全. 医学書院, 東京.
- 国立大学医学部附属病院長会議 (2001). 医療事故防止のための安全管理体制の確立に向けて「提言」: 事故を未然に防ぐ方策から事故後の対応策のガイドライン. 日総研出版, 愛知.
- 国立大学医学部附属病院長会議. 常置委員会, 医療事故防止のための安全管理体制の確立について—「医療事故防止方策の策定に関する作業部会」中間報告—, 2009年8月10日検索, http://www.umin.ac.jp/nuh_open/iryujiko.pdf
- 厚生労働省. 医療安全対策検討会議, 医療安全推進総合対策—医療事故を未然に防止するために—, 2009年8月10日検索, <http://www.mhlw.go.jp/topics/2001/0110/tp1030-1y.html>
- 厚生労働省. 患者誤認事故予防のための院内管理体制の確立方策に関する検討会, 患者誤認事故防止方策に関する検討会報告書, 2009年8月10日検索, http://www1.mhlw.go.jp/houdou/1105/h0512-2_10.html#no3-2
- メヂカルフレンド社 (2002). 看護学大辞典第5版. メヂカルフレンド社, 東京.
- 見藤隆子, 小玉香津子, 菱沼典子 (2003). 看護学事典. 日本看護協会出版会, 東京.
- 南山堂 (2006). 南山堂医学大辞典第19版. 南山堂, 東京.
- 日本病院管理学会 (2004). 医療安全用語事典. エルゼビア・ジャパン, 東京.
- 日本病院管理学会 (2006). 学術情報委員会, 医療・病院管理用語事典改訂第3版. エルゼビア・ジャパン, 東京.
- 日本医療機能評価機構医療事故防止事業部, 医療事故情報収集等事業第17回報告書, 2009年8月10日検索, http://www.med-safe.jp/pdf/report_17.pdf
- 日本医師会医療安全対策委員会, 患者の安全を確保するための諸対策について. 2009年8月10日検索, <http://www.med.or.jp/anzen/data/anzen1308.pdf>
- 日本看護協会 (2009). 看護職が関与した医療事故報道について2008年(1/1~12/31)に報道された看護職が関与した医療事故の概要. 2009年8月10日検索, <http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen/pdf/2009/200904.pdf>
- 日本看護協会 (2002). 「医療事故発生時の対応」に関する検討WG, 医療事故発生時の対応—看護管理者のためのリスクマネジメントガイドライン—. 2006年11月30日検索, http://www.nurse.or.jp/anzen/risk-guide/guideline/jikotaiou/04_05yougokaisetu.pdf
- 日本看護協会 (1999). リスクマネジメント検討委員会, 組織でとりくむ医療事故防止—看護管理者のためのリスクマネジメントガイドライン—. 2006年11月30日検索, http://www.nurse.or.jp/jna/riskmanagement/001_2.html
- 最新医学大辞典編集委員会 (2005). 最新医学大辞典第3版. 医歯薬出版, 東京.
- 杉谷藤子 (1997). ナーシング・マネジメント・ブックス6「看護事故」防止の手引き. 日本看護協会出版会, 東京.

鈴木庄亮, 川田智之 (2006). 保健・医療・福祉のための論文のまとめ方と書き方改定第2版. 南江堂, 東京.

田中功 (2004). 情報管理の基礎知識2訂版. 海文堂出版, 東京.

和田攻, 南裕子, 小峰光博 (2002). 看護大事典第1版.

医学書院, 東京.

八代利香, 松成裕子, 梯正之 (2004). 看護職における「与薬エラー発生」に関わる要因—国内外の研究動向と今後の課題—. 日本職業・災害医学会会誌, 52, 299-307.

【要旨】 誤薬という事象やそれを包含する医療事故の関連語には類義語が多数存在するため, 二次資料を用いて網羅的に文献検索を行うためには, それらの類義語の知識が不可欠である。本研究では, 国内文献から誤薬の類義語や与薬の類義語, 医療事故の関連語を収集・整理するとともに, それらの用語を使用して, 医中誌 Web (Ver.4) を用いて誤薬に関する原著論文の試行検索を行い, 網羅的な文献検索のための検索式を考察した。検索語にディスクリプタ「投薬ミス」のみを使用する方法は, 検索漏れの恐れがある。検索式を (「与薬の類義語」and「医療事故の関連語」) or「誤薬の類義語」とし, 検索語にシソーラス用語と自然語を併用する方法は, より網羅的な検索を可能とする。

受付日 2010 年 10 月 8 日 採用決定日 2010 年 12 月 16 日